

なるほど! ザ・ファンド

Q & A

Vol.268

Q.

感情に左右されずに合理的に（冷静に）投資をするには、どうすればいいですか？

A.

事前にルールを決めて、感情に頼らず機械的に行動することが一つの解決策です。

人が意思決定や投資判断を行う際、さまざまなバイアス（先入観や偏見）が大きく影響します。バイアスは冷静な判断を妨げ、投資の失敗につながることもあります。感情や思い込みで左右されないためには、あらかじめ自分なりの「ルール」を決めておくことが重要です。

例えば「どの条件で買うか」、「何%下がったら売るか」などの**ルールを定めることで、感情に左右されずに機械的に投資を行うことが可能**となります。また、毎月一定額を積み立てる「**積立投資**」を活用し、**自動的に投資を行う仕組みを設定**することや、**投資判断を膨大な情報処理が可能なAI（人工知能）などに任せる**ことも、非合理的（感情に左右された）選択を避けるための効果的な手段です。

自分に合ったルール・仕組みを最初に設定し、長期的な視点を持つことで合理的に（冷静に）投資をすることが可能となります。*1

感情に左右されずに合理的に（冷静に）投資をするには！？



事前に ルールを決める

- 「10%下がったら1万円買い増す」、「15%下がったら売却する」、「20%上がった一部利益を確定する」など**売買の基準（ルール）を事前に定めることで感情を排除し、機械的に投資行動を行うことが可能**です。



ルールがあると機械的に判断・実行できるから悩まなくてすむね



積立投資で 投資の自動化

- 毎月決まった商品を決まった金額だけ買い続ける「**積立投資**」を活用することで、**投資を自動化することが可能**です。どのような相場環境でも感情に左右されることなく、投資を行うことが可能となります。



投資タイミングを判断する必要がないから、相場環境に惑わされずにすむね



投資判断を AIなどに一任

- AIは、膨大なデータに基づいたアルゴリズム取引*2によって**人間の感情やバイアスを一切挟まず、自動的に売買を実行**します。多くの投資家が直面する非合理的（感情に左右された）選択を避ける手段として有効と考えられます。



AIなら感情等に左右されない合理的な投資判断が実現できそうだね

*1 合理的な（冷静な）投資が必ずしも投資成果につながるとは限りません。

*2 あらかじめ設定した条件に基づき売買のタイミングや数量をコンピュータが決定し行う取引。

（注）上記のはあくまでも一例としての投資手法のご紹介であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

（出所）各種資料を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。